

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「個人の尊重」「持てる力を引き出す」「地域社会のふれあいを大切に」を基本に、可能な限り自立への支援をすると明示していません。	○  日々の生活の中で、できる限り外へ出て自然に地域みなさんと交流できるように取組んでいく。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見える場所に掲示し、日常的に意識できるようにしている。また折に触れ会議や具体的場面等においても話しています。	理念を目に付く場所に掲げている。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族には契約時に説明している。地域の人には、地域の集まりや催し物の機会等の場で話していますが、十分に浸透していない。	○  今後は町内会に積極的に出向き理念の話がでる機会を作っていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所の方々と気軽に挨拶をし、利用者も職員も日常的な付き合いの範囲を広めている。町会に加入しており、役員と相談しながら地域の各行事参加したり、回覧をまわしたりと、交流に努めている。地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか、具体的な話し合いができていない。	○  今後も町会、地域活動に積極的に参加し、また運営推進会議などで役立つことがないか話し合い、働きかけていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員が行い、それぞれの評価を活かし改善に努めています。	○	評価結果を活かし、足りない部分の課題や項目について改善に取り組んでいく。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回、開催しています。そこでの意見をサービス向上に活かせるよう検討、実現に努め、また地域の情報を収集しています。	○	今後も持続しながら施設サービスの質の向上に繋げていく。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の不明な点などの対応の相談をしている。また苦情や介護事故後の対応や記録に関する助言等をしていただいています。	○	市担当者への相談や情報交換で、指導を受けながらサービスの質の向上に取り組んでいく。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加しています。必要であれば活用できるように資料、パンフレットの用意をしています。		
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアル作成、サービス実施に問題がないか職員間で確認し合い、防止に努めている。	○	講習会に参加したり、勉強会を開催したり徹底を図る。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	緊急時、利用者、家族の意見や要望を聞きながら必要事項を説明し、契約等を行っています。	
11	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満、苦情に対する投票箱を設置しているが開設以来、投入がない。日常の対話の中で、それぞれ聞かれたことを意見とし、改善に取り組んでいます。	○ 設置場所を検討
12	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時や2ヶ月に一回のおたよりで暮らしぶりを報告しています。金銭管理に関しては、個々にお小遣い帳を用意し残金や支払った内容についても定期的に家族の確認をいただいています。	
13	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の文章に意見、苦情の窓口を記載しています。意見箱への投函はないため、日常のコミュニケーション、面談で意見交換し、改善に取り組んでいます。	
14	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と話し合いの機会を持ち、会議や引継ぎ等でも意見を聞いて反映させています。	○ ミーティング時間の確保
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	施設行事、外出時の付き添い、勤務交代等、必要時出勤でき人員を確保し、いつでも調整できるようにしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の性格、能力、年齢などを考慮し、異動は最小限にしています		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
17	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員それぞれが介護研修、認知症研修などに参加し、介護現場に活かしています。		
18	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	さまざまな外部研修を経て同業者との情報交換や情報収集をし、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	できる限り、職員の意見を取り入れて働きやすい環境づくりに取り組んでおり、勤務表作成については、本人希望優先し、作成しています。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者が勤務状況を見ながら、各人の悩み等について聞くようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人、家族と面談を行い、困っていることや不安、要望等を聴取し、気軽に話しやすい信頼関係を築いている。その上でどのような支援を希望されているのかを把握し、利用にあたっての説明や内容を本人、家族が納得していただけるように努めています。	
22	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が求めている支援を見極め、必要な対応をしています。	
23	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設見学、安心、納得の上で利用いただくよう努めています。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の味付け、作り方を教わったり、また、裁縫や手芸品を一緒に作り、共に喜びあって過ごせるように努めています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的に家族と面談の機会を作ったり、おたよりを出したりして情報交換をして共有関係を築き、共に支えていくことをしています。	○	
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	施設内行事や外出行事等に家族にも参加していただき、よい関係が築けるよう支援しています。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前から利用している床屋、美容院を継続し、また、馴染みのお店で買物をしたりしています。		
28	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	趣味や考え方等を考慮し、利用者同士の交流で支えあうよう努めています。		
29	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院に入院されたときは、お見舞いに行き、励まし、付き合いを継続できるようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービスを開始する前に聞いています。また日常会話の中でも把握できるようにしています。	
31	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の中でコミュニケーションを図りながら、情報を拾い出して記録し、把握しています。	
32	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	余暇時間、それぞれの役割、その日の体調等、申し送りやケアマネジャーから情報を得ています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族から暮らしについて意見、要望等を聴取し、カンファレンスにて話し合い意見、アイディアを反映した介護計画を作成しています。	
34	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一回の見直しを基本とし、評価を実施している。利用者に状態変化があれば、その都度見直しをして作成しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にケース記録を作成し、日々の状態や状況、本人の言葉等を整備している。また、情報を共有化し、日々の実践に活かしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
36	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の要望があれば、通院、理美容、外出の支援をしています。また、近所の理容の訪問も受けています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
37	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者担当の地域民生委員の協力を得ている。本人の意向、必要があれば、その関係機関と協力、支援することとしています。	○	施設からまず、地域活動に参加し、交流を活発に行う。
38	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入所、退所時、その他必要に応じて他の事業所ケアマネジャーと相談、話し合いをしています。		
39	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性がある場合の対応は、今後地域包括支援センターと連携し応えることとしています。	○	地域包括支援センターとの情報交換を積極的に行い、連携に努めています。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が普段かかっている医師と連携をとり、緊急時には本人、家族の了解を得て、他の医療機関を受診できるようにしています。		
41 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	まずは、かかりつけ医に相談し、必要があればすぐ紹介できるよう連携を図っています。		
42 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医看護師と情報交換、相談などして健康管理を行っています。		
43 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関と情報交換し、本人、家族と話し合い、退院後も安心して過ごせるように相談につとめています。		
44 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族が希望する内容を話し合い、かかりつけ医と連携しながら、共有していきたい。		
45 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人や家族に添えるよう医療との連携を図りながら、職員で検討し、取組んでいきたい。	○	利用者がよりよく暮らせるために、できるケアを提供します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や本人に関わる関係者間で十分な話し合いや意見交換を行うこととしています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
47	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	オムツ交換や着替え等の際に、言葉かけや対応を職員間で注意しながら配慮しています。		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の思い、希望の自己決定できる場面作りをし、わかる力に合わせた説明を行い、納得しながら暮らせるよう支援しています。		
49	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間帯によっては、職員の都合を優先してしまうことがあり、そのため利用者のペースを崩してしまうことがあります。	○	時間帯によっては、利用者の希望通りにできないことを前もって伝えるようにしています。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
50	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしく自由なおしゃれをしていただき、服装や髪等、さりげなく直す支援をしています。理美容は、利用者のいきつけや希望する理髪店、美容室を利用しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に、準備や後片付けをしています。また、行事食等も考えて支援しています。		
52	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好を把握し、希望時には提供できるようにしています。		
53	○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄への訴え、行動サイン等、一人ひとりの排泄パターンをつかみ、誘導しています。		
54	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を取り入れた曜日や時間で入浴を実施し、また、希望があれば、随時対応できるように支援しています。	○	
55	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後、入浴後を休息の時間帯とし、居室にて静かに休める配慮と、その他利用者の状態に応じて安眠への環境作りに努めています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	新聞紙の整理、裁縫、食事の手伝い等、それらがうまく発揮されるよう配慮し、また、個々に好きな音楽鑑賞やビデオ鑑賞、読書等で楽しめる支援をしています。	○	一人ひとりに、新たな楽しみや活動となる支援の提供

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物の際、金銭管理のできる利用者には、自分でお財布から払っていただき、できない方には付き添い、お金を渡して利用者が払うような支援をしています。		
58	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設周辺の散歩に出たり、スーパーへの買物へ行ったりと、日常的に支援しています。		
59	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事外出のほかに、個別または他利用者と共に出かけられるミニドライブ外出を計画実施しています。	○	家族も一緒に出かけられて楽しめる企画を検討
60	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が自室でゆっくり電話できる配慮をしています。また手紙の投函依頼、切手、用紙封筒等を準備し、支援しています。	○	
61	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	日中いつでも立ち寄っていただけるよう玄関を開放的にし、来訪者には、ゆっくり過ごせる配慮とお茶を出す等の対応をしています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
62	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象とされている内容を理解しており、身体拘束をしないケアを実施しています。	○	講習会参加、マニュアル作成、勉強会の開催

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関にを常に開放しており、見守りにより行動を把握し、職員間での声かけを徹底しています。一人で外出しそうな入居者に対しては、散歩に誘い気分転換をしていただく等で、鍵をかけないケアに取り組んでいます。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は昼夜を通して、入居者の所在、様子を常に視野に入れ、プライバシーに配慮しながら安全確保に努めています。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	医薬品は目に触れず、入居者の出入りがない場所に保管している。また、刃物に関しては、厨房への職員の見守りが十分に行き届かない夜間のみ、ドアに鍵をかけています。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状況を見極め、日常的行為の場面においてすべてに注意と目を配り、事故防止に努めています。	○	事故防止のためのミーティングを開く。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	運営母体であるクリニック看護師から吸引法、蘇生術等、実践指導を受けている。その他、応急手当マニュアルを作成し、定期的に勉強会を行っている。		
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定し、避難訓練を年3回定期的に行っている。運営推進会議を活かし、地域の人々に理解、協力を得て避難場所、応援を確保しています。	○	災害に備え、必要な備蓄品を揃えて管理する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	施設内外の転倒、各種のリスクについて家族等に説明している。本人に制約をつけず見守りや付き添い等を行っています。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
70	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調変化の早期発見に努め速やかに家族、医師、看護師と連携を取り、必要に応じて病院受診を行っています。また変化について介護記録し、職員間で申し送り情報を共有しています。		
71	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬情報を個人カルテにファイルしている。医師と連携を取りながら薬を飲みやすい形状に変えてもらったり、症状の変化により処方の見直しをされている。管理は職員が行っています。		
72	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩や適度な運動を取り入れ、水分強化と日常的に乳製品、ヤクルトを飲用していただいています。排便記録から便秘が改善されない場合はかかりつけ医に相談もしています。		
73	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の義歯洗浄やうがいで口腔内の清潔を保っています。また、義歯が合わなくなったりしたら、歯科受診で調整をするようにしています。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材をお年寄りの好みの献立にアレンジしたり、一人ひとりの状態に応じて刻み食やトロミをつける等の工夫をし、摂取量の確保をしています。また、水分量チェックにより十分な補給に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	各感染症に対する予防や対応マニュアルに基づいて職員の周知徹底を図り、随時うがい、手洗い、アルコール消毒を実行している。	○	感染症を未然に防止するためにも、ミーティング等で周知徹底し、特にノロウイルス感染を防止対策を取る。
76	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	次亜塩素酸系で調理器具等の消毒をしている。食中毒時期には感染予防マニュアルに沿って調理しています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには常に季節の花や木が植えられていて、そばにはベンチを置き誰でもが一休みできる場所をと配慮しています。		
78	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室や食堂は、ごく一般家庭と同じような調度品の中にも生け花や観葉植物を置き、季節を感じさせる飾り付けや利用者の作品を展示する等、家庭的な雰囲気を出しています。みんなが集まる場所の採光を調整し、ゆったりとした音楽を静かに流し、不快な音への配慮をしています。		
79	○共用空間における居場所づくり  共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の状況により、独りまたはグループで過ごせるように、食堂、畳敷、ソファコーナー、2階エントランス等の居場所を確保できるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室の家具は本人の希望する配置とし、使い慣れた椅子やテーブルを持ち込んで生活できるよう配慮しています。		
81	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日の午前と午後で、適宜換気を行っています。特に暖房器具使用時期は空調を整え一定の温度設定にしています。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	要所要所に手すりを設置、浴室の滑り止めマットで安定した移動ができます。玄関脇に腰掛台を置き安全に履物が履きかえられるよう、身体機能を活かせる工夫をしています。		
83	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	掃除用具はいつでも使えるようにし、共同のごみ箱は仕分けしやすいように設置し、できることへの環境整備をしています。		
84	○建物の活用  建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	狭いスペースではあるが、敷地内に花壇や菜園を作り、活動できるようにしている。また、庭先にベンチを設置し、庭を眺めたり、散歩できるようにしています。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- (1) 町中に施設があり、気軽に商店街へでかけ地域の方々と触れ合う機会が多く、近隣には学校や幼稚園、神社もあり交流の場としています。  
(2) 運営母体であるクリニック医師と連携を図りながら、利用者が健康で生き活きとした日常生活が送れるよう支援しています。